

さあ！でかけよう！

宮の滝

宮の滝は、落差約40メートルもある、3段の滝です。高さ、水量ともに日本一である那智の滝と夫婦であるといわれています。2段目のたきつぼには、ヘビがいてと伝えられ、だれも近づかないよういわれていました。夏には、水で涼むことができ、新緑や紅葉の美しさもあります。厳寒時にこおりついた様子にも見応えがあり、1年中楽しめます。



高野辻ビューポイント

高野辻ビューポイントからは、近畿の最高峰、「八経ヶ岳」などの、様々な山が見えます。雄大な自然を見ると、とても落ち着きます。また、早朝にビューポイントへいくと、運がよければ谷を埋めるようなきれいな雲海が見えます。



夢の湯

夢の湯では、日帰り温泉を楽しむことができます。露天風呂や、泡風呂、サウナなどがあります。温泉は、冷えしょうや、ひろう回復、健康増進などに、効果的です。特に、露天風呂からの景色は自然に囲まれリラックスすることができます。毎年大塔文化祭が行われ、多くの人がおとすれます。さらに、芸能人も来られて、大塔の人たちはもちろん他府県からきた人も楽しんでいきます。



大塔郷土館

大塔の歴史や文化を伝えるために建てられました。大塔の特産品をつかった郷土料理が食べられます。たとえば、めはり寿司や茶がゆがあります。となりの建物には、大塔の歴史、民俗、文化や伝統を紹介する展示があり、中には、天誅組が使った甲冑などがあります。



星のくに

星のくにには、星見台や天文台、プラネタリウム館があります。豊かな緑に囲まれリラックスでき、夜になれば満天の星空を見ることができて人気です。子供から大人まで自然を満喫でき、夜まで遊んで宿泊もできます。プラネタリウム館では、天井360度のスクリーンに、肉眼で見ることのできる約6000の星がうつしだされます。ナレーションもあり、わかりやすく説明してくれるので星博士になれますよ！



大塔町の歴史

大塔宮護良親王は後醍醐天皇の第3皇子です。鎌倉幕府に追われ、大塔に隠れ過ごした時期があります。その時、村の豪族が、護良親王の生活を助けました。こうした歴史と関係していたことから、明治時代になって村が始まる時に、大塔宮護良親王の名前から、「大塔」という名前になりました。もう一つ大塔に関わる史実があります。それは、幕府から政治の権力を天皇に取り戻し、改革を起こそうと考え、五條の代官所を襲撃した天誅組についてです。その組の本陣が大塔にありました。

